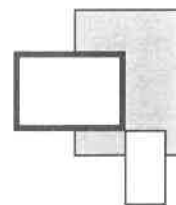




Matsuyama
Business
College

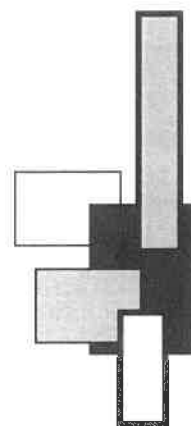
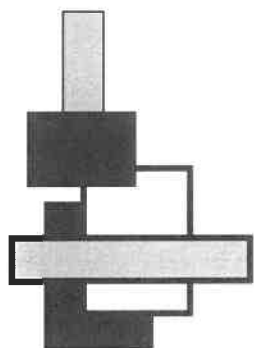


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科

2025 年度

シラバス



ファッションクリエイターコース 1 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和7年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース

必修 / 選択		区分	科目名	種別	担当者	ファッションクリエイター コース1年		
						前期	後期	単位
必修		学科 共通	服飾造形Ⅰ	実習	大野	180		6
			ディテールソーイング	実習	野口	30		1
			マテリアル/テキスタイル	講義	竹松	30		2
			西洋服飾史	講義	秋山	30		2
			ファッションドローイングⅠ	実習	木村	30		1
			クリエイションデザインⅠ	実習	野田	30		1
			パターンメイキングⅠ	講義	野口	60		4
			色彩学Ⅰ	講義	森田	30		2
			Mac実習Ⅰ	実習	四田	30		1
			服飾造形Ⅱ	実習	大野		210	7
			ファッションドローイングⅡ	実習	木村		30	1
			クリエイションデザインⅡ	実習	野田		30	1
			パターンメイキングⅡ	講義	野口		60	4
			色彩学Ⅱ	講義	森田		30	2
			Mac実習Ⅱ	実習	野田		30	1
			マーケティングⅠ	講義	大方		30	2
						450	420	38
必修科目 合計						870		
年間合計時間/単位数						870		38

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。

授業科目	服飾造形 I		時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す					
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～3	授業ガイダンス		ミシン、道具の使い方、縫製理論			
4～7	部分縫い		手縫い各種、留め具各種、ミシン縫い、ロックミシン他			
8～34	タイトスカート(27コマ)		ファスナー、ベルト、裏地、スリットの作り方			
35～62	パンツ(28コマ)		ベルト、ポケットの作り方、持ち出しの作り方			
63～90	シャツ(28コマ)		衿、袖、カフス、ボタンホールの作り方			
使用テキスト 教材・教具	基礎テキスト、ボディ、他 約30点、配布プリント					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	部分縫い10%、タイトスカート30%、パンツ30%、シャツ30%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備すること 作品が完成したらスタイリングして写真に残す					

授業科目	ディテールソーイング	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年
授業科目の テーマと目的	服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す				
学習到達 目標	服飾造形の基礎を身につけ作品制作に生かせる技術を習得する				
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、既製服の縫製テクニック方法を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	授業ガイダンス・縫代始末	・授業、制作物について・アイロン定規(紙定規)を作成 ・ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法)			
2	スカート部分縫い	・ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法)			
3		・縫代始末 折り伏せ等 6種			
4		・ファスナー付け3種			
5		・額縁始末・ベンツ・スリット			
6		・裏付き始末 きせ			
7		・ベルト付け始末 両脇ゴム通し2種			
8	パンツ部分縫い	ミシン縫製			
9					
10		・前ファスナー付け			
11		・脇ポケット			
12	袖口あき始末	ミシン縫製			
13					
14	シャツ前あき始末	・剣ボロ ・スラッシュ ・袖口いつてこい ・袖下あき(玉縁始末)・袖下あき(片倒し)			
15	テスト	・短冊始末3種・比翼始末・見返し始末			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	マテリアル/テキスタイル	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年
授業科目の テーマと目的	服飾素材の組成、用途、特徴を理解し、また加工の技術通して的確な知識を身に付ける				
学習到達 目標	各自、生地見本制作を通して理解を深める				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	洋服と素材の関係性	洋服の種類と素材の関係性をアイテムごとに考察			
2	素材の成り立ち	繊維の構造、産地、特徴			
3	品質表示と製品加工、染色	品質表示の知識と製品加工の種類に関して、染色の技法、工程など			
4～7	スワッチ作成	20種類の素材を使用したスワッチ作成			
8	〃	プレゼンテーション			
9	プリント加工について	プリント加工の技法、工程など			
10～12	染色実習	染色体験			
13	レポート	染色実習のレポート			
14	プレゼンテーション①	各自プレゼンしフィードバック			
15	プレゼンテーション②	各自プレゼンしフィードバック			
使用テキスト 教材・教具	生地見本用の生地（1名×13名）				
参考図書 参考文献	『生地の事典』株式会社みずしま加工				
成績評価の 方法・基準	作品60% レポート20% プレゼンテーション20%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考	各自、スワッチ作成用の台紙を準備する。 https://www.ehime-art.jp/training/about.html				

授業科目	西洋服飾史		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司		時間割	金曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	洋服の歴史を時系列で理解することで時代ごとの各ファッションの成り立ちを掘り下げる					
学習到達 目標	洋服の歴史を知ることによって自身のアイデアソース、企画提案に役立てる基礎を身につける					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	歴史的背景と洋服		歴史の事象とファッションの関係性を掘り下げて考察			
2	各国のファッション		古着、ビンテージ、アンティークから世界の洋服の傾向を考察			
3	50sファッションと背景		世界大戦とその後生まれたカルチャーとの関連性			
4	60sファッションと背景		ファッション熱が上がった背景と音楽、アートとの関連性			
5	70sファッションと背景		新たなムーブメントとプレタポルテ			
6	80sファッションと背景		MIXカルチャーの始まりとリバイバル			
7	レポート		レポート提出			
8	雑誌とファッション		雑誌の変遷とファッションとの関係			
9～10	MIXカルチャーとストリート		様々なストリートカルチャーの考察			
11	90sファッションと背景		MIXカルチャーの成熟とその背景			
12	00sファッションと背景		ビッグメゾンの復活とモードとストリートの関係			
13	最近の世界のファッション		2010以降のファッションの流れを考察			
14	2025以降のファッション		今後のファッションシーンの予測			
15	レポート		レポート提出			
使用テキスト 教材・教具	スライドで解説					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	毎時間の小テスト50%、レポート2回それぞれ25%で評価する					
履修上の 留意点	毎回小テストがあるので要出席			検定試験の 概要		
備考	テキストがないのでそれぞれメモやノートを自身で作成して自分なりの資料を作成する オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する					

授業科目	ファッションドローイングⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	描き方の基礎を学び、イメージを絵として表現できるようになる						
学習到達 目標	ファッションデザイン画基礎を身に付ける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基礎	クロッキー・人をどう見るか					
2～8	人体図	パーツバランスの取り方					
		「核」と「アタリ」とは					
		人を描いてみる(全身)					
9～15	デザイン画	絵具の使い方・影のつけ方					
		好きな資料(写真や雑誌、WEB画像)を使ってデザイン画を描いてみる					
		仕上げ					
使用テキスト 教材・教具	『ファッションデザイン画ビギナーズマスター』、コピックチャオ、ミリペン(サクラピグマ0.05・0.5)、マルマンクロッキー帳SM-02、水彩色鉛筆、クリアブックB4						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを持参する						

授業科目	クリエイションデザインⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	木曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う						
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法 や、デザイン技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ファッションデザインのもと		エレガントとスポーティの意味、モダンとデコラティブの意味				
3～4	〃		テーマからのデザイン発想				
5～6	ファッションアイテムの知識		スカートの知識と課題				
7～8	〃		シャツ・ブラウスの知識と課題、ハンガーイラスト				
9～10	〃		シルエットのバリエーションと課題				
11～12	〃		パンツ・デニムの知識と課題				
13～14	〃		ジャケットの知識と課題				
15	〃		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』高村 是州/グラフィック社、プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する						

授業科目	パターンメイキングⅠ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なパターン作成に関する基本の理解を目指す						
学習到達 目標	製図理論を理解し、基本的なアイテムの製図が出来る						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業ガイダンス	概論・製図道具の名称、扱い方・製図ノートの扱い方 既製服サイズの説明と採寸方法					
3～4	スカート原型	スカート原型の作図(実寸製図)					
5～6	スカートバリエーション①	セミタイトスカート・ギャザースカート・ティアードスカート(縮尺製図)					
7～8	スカートバリエーション②	フレアスカート・サーキュラスカート・ペグトップ(縮尺製図)					
9～10	身頃原型製図	身頃原型概論・原型作図(実寸製図)・原型補正(サイズ)					
11～12	カット移動・ダーツの操作	カット移動5種・ダーツ処理の基本 後ろ身頃の補正法					
13～14	袖原型	袖原型作図(実寸製図)、袖山の高さの決め方・袖山のカーブの引き方					
15～16	パンツ原型	パンツ概論・パンツ原型製図(縮尺製図)					
17～18	身頃のバリエーション①	ボックス・タイト・プリンセスライン・フレアー・襟ぐりタック・襟ぐりギャザー ウエスト切り替え・ヨーク切り替え 展開方法10種(縮尺製図)					
19～20	身頃のバリエーション②						
21～22	袖のバリエーション①	長袖タイトスリーブ(横ダーツ・縦ダーツ)・ビショップスリーブ・タックスリーブ ・シャツスリーブ・半袖3種・パフスリーブ3種 展開方法11種(縮尺製図)					
23～24	袖のバリエーション②						
25～26	襟のバリエーション①	スタンドカラー・シャツカラー・台襟付きシャツカラー・フラットカラー ・ボーカラー・セラーカラー・フード・テラーカラー・ショールカラー 展開方法9種(縮尺製図)					
27～28	襟のバリエーション②						
29～30	テスト	前期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 ・ 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子	時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ				
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	概論－色彩のはたらき	色彩の機能、服装と色彩、ファッションと色彩			
2	色彩の体系	色の三属性、色相環作成			
3～4	〃	ヒュー&トーン、トーンマップ作成			
5～6	パーソナルカラー診断	パーソナルカラーとは、診断実演			
7	〃	似合う色コードのコラージュ作成			
8	色彩理論－基礎	色の成り立ち、光と色、演習発表			
9	〃	三原色と混色			
10～11	〃	視覚と色、色彩と心理			
12	色彩の技術	配色の基礎、色相を基準にした配色、配色演習			
13	〃	トーンを基準にした配色、配色演習			
14	〃	色彩構成の基礎			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩Ⅰ』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判・3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパーA3・A3クリアファイル				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	Mac実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な『Microsoft Word』『Microsoft Excel』『Microsoft PowerPoint』の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれたワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①		Wordの基本操作を学ぶ				
2	Word ②		Wordで基本的な文書を作成する				
3	Word ③		画像や図形を活用した文書を作成する				
4	Word ④		表を活用した文書を作成する				
5	Word 演習		Wordの復習として演習課題を解く				
6	PowerPoint ①		PowerPointの基本操作を学ぶ				
7	PowerPoint ②		オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する				
8	PowerPoint ③		プレゼンテーションに動きを設定する				
9	PowerPoint 演習		PowerPointの復習として演習課題を解く				
10	Excel ①		Excelの基本操作を学ぶ				
11	Excel ②		データを計算し表の体裁を整える				
12	Excel ③		いろいろな関数を利用する				
13	Excel ④		グラフ機能やデータベース機能を利用する				
14	Excel 演習		Excelの復習として演習課題を解く				
15	まとめ		WordとExcelを連携した書類を作成する				
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんOffice for Mac』Office2021/Microsoft365 両対応/技術評論社 (ISBN: 9784297127916)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅱ			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、松山コレクションでオリジナルデザインの作品発表に生かせるよう技術を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～25	ワンピース(25コマ)		見返し、コンシールファスナー、袖付け				
26～65	松山コレクション(40コマ)		オリジナルデザインのシャツ制作				
66～105	ジャケット(40コマ)		テーラーカラー、箱ポケット、二枚袖、裏地				
使用テキスト 教材・教具	基礎テキスト、ボディ、他 約30点、配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ワンピース30%、松山コレクション40%、ジャケット30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること 作品が完成したらスタイリングして写真に残す						

授業科目	ファッションドローイングⅡ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	描き方の基礎を学び、イメージを絵として表現できるようになる					
学習到達 目標	オリジナルデザイン画を描けるようになる					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	着衣表現		細部の表現(素材・質感・模様など)			
3～11	デザイン画 (ルックブック)制作		テーマ決め、デザイン画を描く			
12～13			構成、表紙作成			
14～15			プレゼン、まとめ			
使用テキスト 教材・教具	『ファッションデザイン画ビギナーズマスター』、コピックチャオ、ミリペン(サクラピグマ0.05・0.5)、マルマンクロッキー帳SM-02、水彩色鉛筆、クリアブックB4					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	デザイン画80%、提出作品20%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	各自ノートを持参する					

授業科目	クリエイションデザインⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う				
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法 や、デザイン技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ファッションアイテムの知識	コートの知識と課題			
3～4	〃	ブルゾンのバリエーションと課題			
5～6	〃	シューズと帽子的バリエーション、グッズデザイン①			
7～8	〃	バッグの知識、グッズデザイン②			
9～10	ブランディングデザイン	ブランディングとは			
11～12	〃	シーズン企画			
13～14	〃	ブランド企画			
14～15	〃	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』高村 是州/グラフィック社、プリント配布				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する				

授業科目	パターンメイキングⅡ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なパターン作成に関する基本の理解を目指す				
学習到達 目標	デザインを表現する為のダーツ操作ができ、創作デザインのパターン展開が出来る				
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ブラウス製図	ブラウス作図 フラットカラー・ビショップスリーブ(実寸製図)			
3～4		シーチングの扱い、トレース			
5～6	ブラウスのトワル組み	縫代付け、裁断			
7～8		ピンワーク			
9～10	襟ぐりのバリエーション	ダイヤモンドネック・ハートシェイプドネック・ローネック他6種			
11～12	ワンピース身頃	ボックス・タイト・ウエスト切替3種・プリンセスライン 展開方法6種(縮尺製図)			
13～14	ジャケット身頃	プリンセスライン・パネル切替 展開方法3種(縮尺製図) 3面体実寸製図			
15～16	2枚袖	1枚袖から2枚袖(縮尺製図) 実寸製図			
17～18		3面体実寸製図を使用したテーラードカラー・ショールカラー製図			
19～20	テーラードカラージャケット 製図	製図をトレースし、工業用パターン作成			
21～22					
23～24		シーチングにトレース・裁断			
25～26	ジャケットのトワル組み				
27～28		ピンワーク			
29～30	テスト	後期修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部 他 約9点				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	骨格診断		骨格診断、診断実演				
2	〃		スタイルアップコーデのコラージュ作成				
3	ファッション産業と色彩		ファッション産業における色彩の役割、演習発表				
4	〃		商品企画における色彩、流行色情報				
5	〃		デザインと色彩				
6	〃		染色、ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)				
7	〃		照明の色と種類				
8	検定対策		出題傾向、色票問題練習				
9～14	〃		模擬テスト、解説				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩Ⅰ』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判・3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパー・A3・A3クリアファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2026年1月24日(土)		
備考							

授業科目	Mac実習Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイション デザインの幅を広げることが目標					
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	Illustratorの基本操作Ⅰ		直線と曲線①			
2	Illustratorの基本操作Ⅰ		直線と曲線②			
3	Illustratorの基本操作Ⅰ		直線と曲線③			
4	Illustratorの基本操作Ⅱ		キャラクターを描こう①ドラえもん			
5	Illustratorの基本操作Ⅱ		キャラクターを描こう②好きなキャラクター			
6	Photoshop基本操作Ⅰ		マガジンの表紙をつくろう①			
7	Photoshop基本操作Ⅰ		マガジンの表紙をつくろう②			
8	Photoshop基本操作Ⅰ		マガジンの表紙をつくろう③			
9	Photoshop基本操作Ⅱ		Photoshopで着色①			
10	Photoshop基本操作Ⅱ		Photoshopで着色②			
11	Photoshop基本操作Ⅱ		Photoshopで着色③			
12	企画MAP制作		テーマからのimageMAP			
13	企画MAP制作		スタイル画			
14	企画MAP制作		ハンガーイラスト			
15	企画MAP制作		プレゼンテーション			
使用テキスト 教材・教具	プリント配布					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する					

授業科目	マーケティングⅠ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則		時間割	木曜4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ					
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション業界の現状		現在の市場動向を把握 マーケティングとは			
2	店舗企画		価値の創出 コンセプト パーパス			
3	店舗企画		スタイリングイメージ			
4	店舗企画		STP分析			
5	店舗企画		バイイン SS			
6	店舗企画		バイイン AW			
7	店舗企画		PB企画 生産生産			
8	店舗企画		PB企画 海外生産			
9	店舗企画		立地戦略			
10	店舗企画		52週MD VMD			
11	店舗企画		FA・接客・マネイジメント			
12	店舗企画		デジタル戦略(EC・バーチャルショップ メタバース ライブコマース)			
13	店舗企画		プレスについて			
14	店舗企画		3ヶ年予算計画 初年度月別予算			
15	総論		プレゼンテーション			
使用テキスト 教材・教具	パソコン必須					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する					
履修上の 留意点	企画書を積み重ねていくので出席の意識 を強く持つこと			検定試験の 概要		
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参					